



THE SUGGESTION

提 言

中小企業組合総合研究所機関紙

5月1日

第208号(2023年)

提言・約束事

1. 基本的には読者参加型の提言新聞とします。併せてニュース解説や話題を提供します。
2. 投稿の場合、社会規範に反するものは受け付けません。原稿掲載はスペース等の関係もあり編集者の判断にお任せ下さい。

発行所

一般社団法人 中小企業組合総合研究所

〒533-0032 大阪市東淀川区淡路3-6-31 協同会館アソシエ2F

電話 06-6328-5577 FAX 06-6328-5588

URL <http://www.kumiaisouken.com/>

2023年春闘を振り返って 今後の方向性についての提言

関生再生
委員会

今春、大企業は政府の呼びかけに応じて3%前後の賃上げを実施したが、4000万人を雇用している中小企業では、大企業からの収奪が強く、賃上げどころではない現状が続いている。「連合」(日本労働組合総連合会)は、下請け企業と労働者を犠牲にする運動が構造化しており、ストライキをする力もなく、相手にお願いの姿勢で、成果は得られない春闘になっている。これは日本の労働者間の格差と差別を助長するものとなり、多くの労働者は今季春闘に失望している。

闘わずして春闘を語るなけれ

今春闘における関西の生コン関係の現状だが、これは完全なる敗北であり、業界(オーナー会)の言いなりの春闘である。

近畿生コン協議会(建交労主導の労働組合の結集体は、オーナー会(西日本建設関連オーナー会)の菅生行男会長のペースで進められていて、今年4月から生コンを標準価格



活発な意見交換が行なわれていた集団交渉(2016年)

に頭下げられたら終わってしまふがな」となると理解を示し、結果は「条件付きで日々雇用の賃上げ1000円」だけで終結している。

今春闘も昨年同様、集団交渉ではなく懇談会的話し合いで、相手のペースで終わった。見過ごす事が出来ないのは、従来から制度化されていた集団交渉が潰された事、そして生コンの原価を検討せず相手の主張を鵜呑みにしている事である。さらに値上げ前の価格で各社大儲けしている事。セメント値上げは無条件で受け入れるべきではない事である。

期待と善意を裏切った現執行部

さて、関生支部の春闘がどのような結果になったかは不明である。

まず、春闘方針が提起されていない。要求は何か、交渉は誰と行なうのかが明らかにされておらず、「関生支部再生委員会」から提起した提言についても議論すらしていないので

ある。何よりも、交渉は闘いの場である事を臆面もなく否定している事である。これは、建交労の本質を現わしている。

00坪の土地を売却しているが、前回もそして今回も、何の目的で動産、不動産を売るのか、いくらでどこに売ったのかを公開していないのである。「学働館・関生」は2015年に「関生支部50周年記念事業」として、多くの中小企業と労働者からのカンパにより設立されたものであるが、それら関係者には連絡すらない、全くの一方的な売却である。

この「学働館・関生」は、2014年7月から労働者や中小企業に「歴史的50周年記念行事成功に向けての寄付の要請」として呼びかけ、この要請に応えて5億数千円円の浄財が集まり、2015年9月に完成したのである。寄付要請の一説に「100年を目指す大企業として新会館建設と歴史編纂。大阪労働学校の設立と図書館の開設。共同墓地の開設」としている。しかし、大阪労働学校と図書館は湯川裕司体制のもと破棄してしまっている。「学働館・関生」については、「ハコとして売って何が悪い」との態度で、多くの人の志を投げうっているのである。湯川裕司体制で実行されている事は、仲間の期待と善意を裏切るものである。

敵は追い詰められている

今日、世界は大転換の時代に入っている。資本主義は行き詰まり、アメリカ型民主主義は「戦争、戦争」の繰り返しで、ついにトランプ前大統領には刑事責任の追及までされている(選挙妨害の可能性がある)といわれている。ロシアとウクライナの戦争は終結の見通しもまだ立たずである。

この経済社会構造は限界にきており、資本主義に代わる制度を求めているのである。それは社会的連帯経済、共生・協同型経済、配分の公平・平等化を求める運動である。この運動は労働組合が主導的に取り組む重要課題である。生コン関係の民主化を求める運動は、本紙2月1日号に、関生再生委員会として「春闘方針への提言」を掲載しており、これを参考に実践する事である。

情勢に相応しい運動方針と、その実践に向けての取り組みが、働く者の生活を改善し、大企業から収奪されている中小企業を救う道である。これが勝利への法則を獲得する事になる。

敵は追い詰められており、仲間が団結して闘う事が重要である。沖縄辺野古基地撤去、原発再稼働阻止、戦争準備の大増税阻止、福祉・医療・教育の充実、権力弾圧を粉砕するためには、冤罪と闘っている人々との連帯が大である。

建交労主導型、湯川裕司体制での春闘の形骸化

会館は今年1月26日付で、株式会社GOLD KEY社(大阪中央区島之内1の15の10)に土地・建物あわせて4億円で所有権が移転しているが、これに対して「カンパの趣旨に反する」として多くの仲間から集団訴訟の動きが起きている。

地球規模での地震、火災、サイクロン、大洪水、大寒波等、生態系の変動が起きている。これは金儲けのための地球環境破壊から起きている体制的危機の象徴である。それらを招いた資本主義がなぜ行き詰まっているのか。それは弱肉強食の自由競争で、その結果として、部特権階級に資産が集中しており(アメリカを中心とした8人の資産が36億人の全資産を上回っている)に反する」として多くの仲間から集団訴訟の動きが起きている。

経済では、アメリカの2つの銀行破綻、スイス大手銀行の実質破綻と大揺らぎである。インフレ対策としての金利引き上げ等の金融政策で、日本もデフレ策としてのマイナス金利策等について、いずれ2008年のリーマンショックのような事がいつ再来するかわからない状況に直面している。

「表」面上の平和」とは、裏腹に、今日日本がおかれている現状をしっかりと捉え、我々一人ひとりが「何をすべきか」「何が出来たのかをしっかりと「提言」していければと思う初夏の夕べです。

(A.M.)

を改め、「業界民主化6項目」の追求と、歴史的に獲得している賃金労働条件の継承に向けて取り組む事が求められている。何よりも関生支部の歴史と伝統に恥じない、関生支部の建設が緊急の課題である。

桜が散ったかと思えば真夏の気温になり、かと思えば「来週は寒くなる」とのニュースに服装も考えなければなりません。そんな4月も終わりGW、今年もはや3分の1が終わってしまいましたが、皆さんには季節を愛でる余裕がありましたでしょうか?

ウクライナ戦争は一年を経過し、解決の兆しすら見えていません。そんな中、WBCでは大谷翔平選手をはじめ日本代表が大活躍し、見事世界の栄冠に輝きました。そのお祭りムードも覚めやらぬ中、国内では岸田首相襲撃事件、外に眼を向けるとスーダンの内戦と、「何かと騒がしい」春になっています。

本 当に日本!? 話は戻りますが岸田首相襲撃事件は首相も無事で大きな被害もなく、連日なされる報道のトーンも段々と下がっています。しかしながら、昨年の安倍元首相暗殺事件から一年と経たぬ間に起こったもので、近代日本でこのような事件が立て続けに起こっていることに、重大な危機感を感じています。犯行の動機も徐々に明らかになってはいますが、このような事件の根底にある「国民感情」を軽視してはならないと深く思うのです。

「表」面上の平和」とは、裏腹に、今日日本がおかれている現状をしっかりと捉え、我々一人ひとりが「何をすべきか」「何が出来たのかをしっかりと「提言」していければと思う初夏の夕べです。

(A.M.)

を改め、「業界民主化6項目」の追求と、歴史的に獲得している賃金労働条件の継承に向けて取り組む事が求められている。何よりも関生支部の歴史と伝統に恥じない、関生支部の建設が緊急の課題である。

現執行部体制の何が問題なのか

関生支部再建に向けて

関生再生委員会

全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部（関生支部）が揺れている。権力・セメント資本：大手ゼネコン・大阪広域生コンクリート協同組合幹部が、最大の目標としていたのが武建二氏の「首取り」だった。事もあるうに、それに加担したのが関生支部役員、執行委員20名が署名し、武委員長「当時に突きつけた『決意書』であった。『昨年の大会で『世代交代』を唱えて、事実上のクーデターの手法を用いて武氏を排除した現執行部だが、今春闘での明確な方針を示せないばかりか、学働館、関生を売却するなど、先人が築き上げた歴史や財産を食いつぶす事に何の恥じらいも感じていない。これに対して組合員が声を上げられないのは、二つの縛りが効いているからである。一つは裁判費用を関生支部が出している事。もう一つは日々雇用の配車権を執行部が握っている事だ。それによって抵抗や意義は抑え込まれている。変質した執行部に乗っ取られた関生支部再建のためには何が必要か。

支部の実態をさらけ出し、
打って出る気概と謙虚さを持て



閔生の闘いの歴史を振り返ると、組合加入する
と不当労働行為がなされ、解雇されることが日常的にあつた。今回の弾
圧でも、経営者がしては
ならない「不当労働行為」
を、警察官・検察官が組
合脱退工作として行なつ
た。その意味では「国鉄

労働組合「つぶし」と同様の、国家的不当労働行為である。もちろん、大阪広域協組の悪徳幹部が、加盟の生コン企業に対して、それも関生支部と協力・共闘関係が深かった企業に対して、組合員の逮捕を理由に解雇・雇止めを強要した。

組合としての自覚と、とりわけ幹部の資質として関生魂と階級的意識性が問われる。組合員を励まし、守りぬくために、幹部が先頭に立って闘う中で信頼関係を再構築する事が必要なのである。

関生支部は産業別組合である。日本の労働運動

これまで、支部結成から組織拡大の時期、弾圧を受けた時期は、企業を越えて多くの組合員を動員して、会社に抗議し、組合員を守りぬいてきた。一人の組合員の事でも組織をあげて、直接的な抗議行動を集中的に、場合によつては継続的に展開してきた。

今回の弾圧で、残念ながら
閩生支部の組合員は、
多数の脱退者によつて大
きく減少した。

権力弾圧下での争議

組合としての自覚と、とりわけ幹部の資質として関生魂と階級的意識性が問われる。組合員を励まし、守りぬぐために、幹部が先頭に立つて闘う中で信頼関係を再構築する事が必要なのである。

関生支部は産業別組合である。日本の労働運動にとって産業別組合が必要であり、その先進的な闘いをしてきた関生支部をつぶしてはならない事を訴える事が大切である。

そのために支部の実態をさらけ出し、打つて出る気概と謙虚さが必要である。組合員が離れ、弱体化している支部の実態をさらけ出し、少なくなつた組織の維持と、組合員の質的団結の条件を作る事、そのための協力を支援の仲間に訴える事である。組合員の民主的討論

と組織拡大の条件は、内
外問わず批判や意見を
「内部干渉」と言つて排除
する事をやめる事である。
今、関生支部に求めら

論で拒否をする事ではない。これだけの弾圧に対し、争議組合としての体制に早急に切り替える事である。

れているのは「弾圧反対」だけに運動を縮めたり、見せかけの共闘で済ませたり、組織内部の問題をさらけ出さず「内部干渉」

武氏をはじめ、組合の先輩、様々な支援者、協力者など、すべての力を結集するための方向に大転換する事である。

大阪広域生コンクリート協同組合の
悪徳幹部と対抗する自力路線を

警察・検察による不当逮捕・起訴による弾圧、組合つぶしの攻撃とセツトで、長年労使が協力して「生コン産業政策運動」

く、しかも警戒心を怠らない」という事、「法律に依拠はしないが無視もしない」という事を考慮に入れ、少なくなった組合

を推進してきた生コン企業に、大阪広域協組の悪徳幹部が、割り付け権による恫喝^{おどろ}として、「関生支部との関係の遮断」を強要した。個別企業は、仕事の取り上げと同時に、逮捕・起訴を口実に、こじつけの理由で解雇や雇止めを強要された。そして

員全員で戦略・戦術も含めた討論が必要なのである。拠点分会の実態を全る。拠点分会の実態を全
体化し、生活と闘争を継
続していくための討論を
回避してはならない。現
幹部による関生財産の現
金化と食いつぶしは、再建
の展望なき組織解体路
線である。

ン業界で働く労働者の事 これらの悪徳幹部との対
など考えていない。現に 決が必要である。

労働者の賃下げ、10年以上セメント値上げを労使の協力でストップしていたのに、値上げを実行している。現在の大阪広域協組執行部はセメントメーカーの手先になっている。

支部幹部は、先輩たちが貯えてきた資産の現金化と、その使い尽くしを直ちに止める事である。働きながら闘い、自力の対抗手段を作ることが必要である。

内部矛盾の克服の前提となる

今次の弾圧は、権力・セメント資本・大手ゼネコン・大阪広域生コンクリート協同組合の悪徳幹部による関生支部解体攻撃である。

運営から排除する目的で、20名の副委員長以下が署名した「決意書」を武委員長に突きつけた。そして翌2021年10月の定期大会までの二年間、武

武委員長（当時）が保釈（2020年5月28日）された後の最初の定期大会（同年10月18日）において、武氏は委員長に立候補し信任された。しかし大会終了後、武氏を氏は無視され続け、武氏の関心支部と協同組合への影響力を排除する敵の目的と同じ

事が関生支部内でも実行されたのである。

まず、この武氏排除の「決意書」を撤回し、ピンチをチャンスに向かわせる再生のスタートラインに、着くべきである。遅いとの意見もあるかもしれないが、再生委員会は諦める事はない。

武氏は2021年10月の支部大会で、なぜ立候補しなかったのか。その根底にある支部や組合と組合員への深い思いを鑑みて署名した幹部・執行委員らも自らの内省を深め、互いに自己批判・相互批判をする事によって、組合民主主義を復権させる事である。そして真正面から世代交代、新しい指導部選出のための民主的討論をはじめたる事である。敵が一番の狙いとする、武氏の首取りに手を貸す事は絶対許されない事であり、「決意書」を提案した幹部・執行委員は直ちに指導部から退くべきである。自己批判が必要であり、働きながら「組合員」として再出発をするべきである。

敵対矛盾は闘いによつて解決し、内部矛盾は話し合ひで解決する立場を堅持する。「決意書」の撤回が出来れば、少なくともつた組合員全員集会を開き、そして元組合員への再結集の呼びかけへと進むべきではないか。



やるべき方針の柱について

① 中小企業経営者に対する「二面闘争、二面共闘」路線は忘れる事なかれ

しれない。もちろん解雇や雇止めなどを行なった事を許すわけにはいかないが、敵を分断する事も考慮に入れなければならない。

関生の歴史は、反独占、産業民主化闘争として、中小企業経営者に対する「二面闘争、二面共闘」路線で、生コン企業経営者を協同組合への加盟促進に協力する事により、セメントメーカー、大手ゼネコンとの対等取引の成果となってきた。その事によって関西の生コン業界の労働者の高賃金・労働条件を獲得する原資を確保させてきたのである。

② 謙虚になって本当の支援戦線の拡大へ！産別運動の再生へ！

今回の弾圧を通じて、大阪広域協組の幹部による「割り付け拒否」等の脅しの中で、関生支部の組合員を解雇や雇止め、関生支部の影響のある輸送会社にいる支部組合員の運転手配拒否など、これらは総じて関生支部の影響力の遮断・排除である。解雇や雇止めなどの不当労働行為を行なった企業の多くは、関生支部とは友好関係にあった企業である。

こうした企業は、割り付けを止められると、倒産の憂き目に遭う。解雇はしたが、これまでの共闘の負い目を持っているかも

支部の実情の報告を求めたり、意見を述べたりする事、財政の公開や収入に見合う支出を求める事、資産の切り売りの問題、専従の縮小、拠点の争議方針、支部から離れた元組合員の再結集の取り組み、裁判・労働委員会、執行部体制の転換などについての内部討論ができない。

また武氏に協力する人たちを、「支部」の内部干渉を理由に排除している。これでは支援戦線の広がりも、全国化もおぼつかない。必要などころには、内部の情報公開、意見・提案を受け入れる柔軟な姿勢こそ必要である。本当に支部再生、業界再建をやり抜く姿勢と謙虚さがあれば、「内部干渉」という逃げ口上から自由になれる。

日本労働運動史上、時の先進的労働組合は権力弾圧によってことごとく潰されてきた。国鉄労働組合もやられた。謙虚になつて、本当の支援戦線の拡大へ！

三面的方針について

① 先輩たちが貯えてきた資産の食いつぶし(現金化)をやめる。

・ 民主的討論・運営ができる体制にする。
・ 財政の公開と収入に応じた支出予算の確立(ユニオン共済の財政実態報告も行なう)。

く潰されてきた。国鉄労働組合もやられた。謙虚になつて、本当の支援戦線の拡大へ！

関生支部再生の展望こそ産別運動再生へと繋がる。そのための本腰を入れた支援体制が必要である。

② 支部・分会の団結の強化を図る。

・ 全組合員が顔を合わせ、近況報告や生活状態を報告し合う。日曜日が理想的だが、最大限の組合員が集まれる日を設定する。組合員の生活実態の把握、生活に見合った配分をする。

・ 新淀生コン分会は拠点の位置づけをして、個別企業主義の克服として賃金の配分問題を含めて検討する。同時に組合員全体の収入とそれぞれの分配を決める。

・ ティーウェイケイ高槻生コン分会は、争議対策、生活と闘争方針の確立をする(対大山戦)。解雇争議として生活確保のため働きに出る。



多くの協力で完成した学働館だが(2015年)

・ 争議組合としての組織を簡素化し再編(朝日分会も含む)する。争議対策部は再建する。
・ 計画的学習活動の再開をする。

く、支援組織への加入を要請する。
・ 大阪広域協組悪徳幹部への抗議行動に支援労働組に動員部隊として要請する。

・ 全国の労働組合・市民運動・社会運動体に幅広

時の社会党が20名以上で特別対策委員会を設置した。

新プラント建設と雇用の創出と組合員の獲得

武氏は関生支部第57回定期大会(2021年10月10日)において、委員長には立候補せず、大会の挨拶で、急いで解決を迫られた事5つを提起した。その一つとして、武氏は「一点突破をするには、敵の嫌がる(縮小)に対抗する(新プラントの建設)に着手すべきである」と述べた。これは武氏保釈後の2020年8月の執行委員会でも確認し実施体制に入った。幸い協力者がいるので、これを実行する事は十分可能であった。ところが、突然新プラント建設に妨害が入る。「プラント建設の土地にセメントサイロを作る」とか「骨材ヤードを作る」とか、実現不可能な理由を持ち出し妨害するようになつた。その後、妨害をはじめ、どのような事が起きたのか。このような中で武氏は幹部の活動やあり方の改善を求め、事態打開のための新プラント建設を提案し、幹部同一致した方針として実現するために、先頭に立って実行するようになった。その時に、理由不明な反対理由を出して、武氏の活動を妨害するようになった。その直接のきっかけは、「ある副委員長が三重県の有力者と会談した昨年の8月以降で」と述べた。残念ながらこの時期の提案は葬り去られた。武氏は、いかなる状況にあろうとも、「決意書」による執行部運営からの排除後も、委員長辞任後も支部再生・業界再建を考え

労働者・中小企業者に明日からの希望を与える展望を持つ事であるとしてきた。
・ 弱肉強食の市場原理主義経済から社会的連帯経済へ、人間関係、自然環境との共生、協同型社会を展望として描いていた。この観点から、昨年10月に施行された労働者協同組合法に基づく事



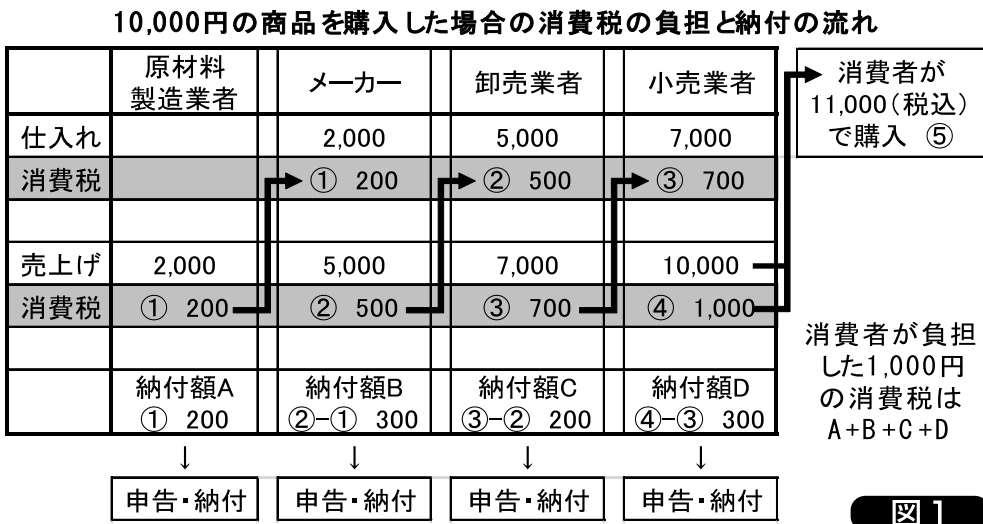
先人が築いた関生支部の歴史に泥を塗るような事をしていないか、いま一度考えるべきだ(2016年 関生支部結成記念日の集いにて)

「税を知る」シリーズ インボイスって何？

2023年10月1日から消費税に「インボイス制度」が導入される。テレビでの会計ソフトのCMなどで耳にしたり、説明会の案内を受け取ったりして、「インボイス」という言葉は聞いた事があるという人も、その中身についてどのような制度なのかをきちんと理解している人が意外なほど少ないのも事実だ。

消費税は誰が納めているのか？

インボイス制度の説明 ているかの説明を。の前に、まずは消費税が 現在の消費税法では、どのようにして納税され 消費税の申告・納付義務



を持つ人(納税義務者)は「年間の課税売上高が1000万円以上の事業者」となっている。もちろん最終的な消費税の負担者は商店で物を購入した消費者であるが、納税義務者は消費者ではなく事業者である。

図1は消費税発生から納付までの流れを示したものである。ここでは消費者が小売店で1万円の商品を購入し、消費税と合わせて1万1000円を支払ったとする⑤。この1000円がそのまま国に納付されるというのが大方のイメージする消費税だが、実はそうではない。消費税は消費者が小売店から商品を買う時だけにかかる税金ではなく、それ以前の全ての流通段階にかかっている事がポイントである。

例えば小売店は卸売り業者から商品を7000円で仕入れたとする。この時にも消費税はかかり、小売店は卸売り業者

に7000円の消費税を合わせて7700円を支払う③。同様に卸売り業者がメーカーから仕入れる時にも、メーカーが原材料製造業者から仕入れる時にも消費税はかかる。流通過程での輸送代に対しても消費税はかかる。このように全ての取引段階において消費税は発生している。そのため、小売店は消費者から預かった消費税分1000円から、仕入れ時にかかった消費税700円を差し引いた300円を消費税として納める(納付額D)。同じように卸売業者は、小売業者から預かった消費税分700円から、仕入れ時に払った消費税500円を差し引いた、200円を消費税として納める(納付額C)。この仕組みを「仕入税額控除」といい、生産・流通の各段階で重複して課税されることのないよう調整するための仕組みとなっている。

前述のように、消費税の申告・納税義務者は「年間課税売上高が1000万円以上の事業者」となっている。サラリーマンで年間1000万円の所得といえ、かなりの高額所得者となるが、この「1000万円以上」というのは「利益」ではなく、「売上」

消費税は売上にかかる税

税や、法人税は売上げ(収入)から経費を引いた「利益」に対して課税されるので、赤字になれば納税免除されるが、消費税は「売上額」に対して課税されるのでたとえ赤字であっても徴収される。中小企業は月々のお金の遣り繰りに困るところも多く、預かった消費税を運転資金に回すことも少なくない。その結果、消費税の納税時に手持ちの資金が無いという事も多々ある。消費税は消費者から納税義務者が一時的に預かっているだけなので、消費税率が上がったとしても、納税義務者には負担は一切ないと国は言う。しかし、原材料製造業者→メーカー→卸売業者→小売業者→消費者という流れの中で消費税が100%転嫁出来ていれば、最終消費者の負担という事だけになるが、実際は流通過程での力関係により、転嫁出来ていない状態も恒常化しているのではないかと思われる。

今年10月から導入される「インボイス制度」だが、正式には「適格請求書等保存方式」の事をいう。2019年に消費税の軽減税率が導入されたが、それにより、材料などを「仕入れ商品に、税額が8%のものと10%のものが混在するようになった。それを商品ごとに正しく計算するために、その根拠となる消費税率と税額が記載された請求書が「インボイス 適格請求書」である。この仕入先等(売手側)が発行するインボイスを保存しておく事で、はじめて消費税の仕入税額控除を受けることができるようになる。

現在、消費税が免税されている小規模事業者は、消費税の申告や計算ではなく、一定の記載要件

インボイス制度とは

納税義務者が一時的に預かっているだけなので、消費税率が上がったとしても、納税義務者には負担は一切ないと国は言う。しかし、原材料製造業者→メーカー→卸売業者→小売業者→消費者という流れの中で消費税が100%転嫁出来ていれば、最終消費者の負担という事だけになるが、実際は流通過程での力関係により、転嫁出来ていない状態も恒常化しているのではないかと思われる。

御請求書

1 株式会社〇〇御中
令和6年10月分 71,300円

7 △△株式会社
登録番号: 123456

8

日付	品名	金額(税抜)	消費税額
2 10/3	3 ミネラルウォーター ※	4 10,000円	800円
10/10	ボールペン	5,000円	500円
10/15	デスク	50,000円	5,000円
合計		65,000円	6,300円
	うち10%対象	5 55,000円	6 5,500円
	うち8%対象	10,000円	800円

3 ※ 軽減税率対象

インボイス請求書に記載すべき事 ①取引の相手方(氏名・名称) ②取引の年月日 ③取引の内容 ④税率ごとの取引の税抜金額または税込金額の合計額 ⑤上記の合計額ごとの適用税率 ⑥税率ごとの消費税額 ⑦売り手の氏名(名称) ⑧登録番号

中小企業・個人事業主は廃業の危機

インボイス制度では、様々な問題点が指摘されているが、その中でも最大の問題点として、課税売上高が1000万円以下の免税事業者はインボイスを発行できないという点が挙げられる。いわゆる中小企業や個人事業主など小規模事業者が免税事業者に該当する。インボイス制度が導入されると、こうした免税事業者からの仕入・物品

されている。このように、インボイス制度は、小規模事業者の経営悪化を招き、あらゆる経済的取引から締め出すような危険性をはらんでいる。

また、中小事業者に限らず、すべての事業者において、実務負担が増大し、各種システム変更などによるコスト負担が生じるという問題もある。

現行制度においては、仕入税額控除の適用を受けるための判断は、基本的にその「取引」が消費税対象であるか否かで判断できるが、インボイス制度導入後は、消費税課税対象の仕入等であってもインボイスが発行された取引でなければ、仕入税額控除の適用を受ける事は不可能だ。この事は、仕入税額控除可否判定のための帳簿記載事項の見直しや財務システムの整備など実務作業・コスト負担が発生することを意味している。こうした実務負担の増加やシステム改修にかかるコストは各企業が負担する事になる。

今年10月からの導入が決まっているインボイス制度だが、多くの中小業者は、コロナ禍と物価高で経営危機に陥り、「インボイスどころではない」という状況だ。政府は、不公平感のない税制制度にすべきではないだろうか。

地域アソシエーションの芽(49)

京都大学名誉教授
国際経済労働研究所所長

本 山 美 彦

株価資本主義を克服する途(19)

米通商委員会と運輸省の壁を突破

大統領府と掛け合っ
いたケルソの協力者、ノ
マン・カーランドは、ラッ
セル・ロングに強く訴えた。
共和民主党を問わず、
多くの上院議員の賛意を
得て、ハットフィールドを中

会」をクリアできないから
であると。ロングはすぐさ
また了承し、翌日の通商委
員会で、鉄道会社の国有
化を避け、それを従業員
持株会社に編成替えす
るべきであると命令口調
で言明した。ロングの命令
口調に、委員会議長のワ
シントン州選出の上院議
員、ウォーレン・マグナソン
が反発し、「陸上交通小
委員会」委員のリン・サト
クリフなどは、労組間の
問題に介入すべきではな
いとロングを批判した。

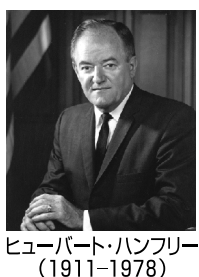
ESOP

Employee Stock Ownership Plans

当時、「米国労働総同
盟・産業別組合会議」A
FL-CIO」に属する運
輸関連の労組は16あつた
が、ケルソ案を支持してい
たのは、「鉄道航空乗務
員組合」の1つだけであつ
た。組織労働者たちは、
ケルソ案を否定するよう
にサトクリフに陳情して
いたのである。しかし、ロ
ングは、サトクリフに対
しては問題の説明ではなく
、解決策を示しなさいと
喝した。以後、サトクリ
フは黙った。

1974年1月1日、ニ
クソン大統領の署名でE
SOP法案、「従業員退
職所得保障法」ERISA
Aが成立した。ケルソとカ
ーランドの議会工作はこ
うして成功したのである。
しかし、肝心の「運輸省」
が、まだ、ESOP採用に
抵抗していた。同省は、従
業員による株式所有は無
意味であるとした内容の
報告書を作成していたの
である。執筆者は、投資
銀行家のハットン、管理職
報酬のあり方の研究をし
ていた会計専門家の、タ
ワーズ、ペリン、フオスター、
労働経済論のソウル・ゲ
ラーマンといった面々であつた。

ESOPの成立



ヒューバート・ハンフリー
(1911-1978)

1976年の「合同経
済委員会」の公聴会で、
そうした内容の1つ1つ
に反論する機会をケルソ
は与えられた。この公聴
会は、上院議員のヒューバ
ート・ハンフリーが主催し
たもので、丸2日間わた
つてESOPに関する議
論が交わされた。そして、



※「AFL-CIOの合併」。
産業別労働組合連合である
アメリカ労働総同盟(AFL)
は、1955年に競争相手の
職能別組合連合、産業別労働
組合会議(CIO)と合併し、
さらに大規模な労働組合組
織を形成した。

が団結して買い取ったこ
とに始まった。

法制化されたのは、比
較的遅く、1986年
である。スペイン国王カルロ
ス1世の名で公布された。
公布文の前書きは以下の
通り。

「産業界が直面してい
る困難さによって、多くの
企業が閉鎖され、その結果、
雇用が失われている。労働
者は、この事態に対し
て積極的な回答を与える
必要に直面している。スベ
イン政府は労働者株式会
社の設立を通じて雇用を
創出するという新しい方
法を適用する」(<http://www.kyodo-sakurane.jp/is/hizuka/130612salhou.pdf>)。

その目的や理念は、「民
主主義参加・連帯」を謳
っている点において、協同
組合とはほぼ同じであるが、
もともと大きな相違点は、
出資と決定に関する権
利である。協同組合は1
人1票の原則であるが、
SALにおいては、出資の
パーセンテージに応じて決
定権がある。それでも、外
部資本の割合を49%まで
に抑え、労働者が最低51
%の資本を持つというの
がある。

しかし、巨大企業によ
る寡占化が定着してしま
った現在のデジタル社会で
は、CLPの成功例をその
まま踏襲することは不可
能に近い。

それでも、「コープ・チャ
ネル」やブロックチェーンの
進展がそうした壁の乗り
越えを可能にしていると
私は思う。このことを検
討するのが次回の課題で
ある。



ロバート・オーエン
(1771-1858)

提言

・投稿歓迎

・戦争の 最初の犠牲は 真実だ (荒馬宗介)
・9条を 変えた先には 大窮状 (瀬戸際の花嫁)

大本営発表や、最近では改ざんや書き換え問題など、政府に都合の悪い真実は
たびたび隠されます。そして軍備拡張には、福祉切り捨てと大増税が伴いま
す。その歯止めが第9条であり、9条なきあとは国民の窮状があるだけです。

社会資本政策研究会

〒533-0032 大阪市東淀川区淡路三二六三
電話 (06) 48621402
FAX (06) 48621403

サンセイ生コンクリート株式会社

代表取締役 稲村 義昭

〒651-1412 兵庫県西宮市山崎町下山口六五
電話 (078) 9041369
FAX (078) 9041107

関連団体を支援する会 K U

関西生コン関連
経営者会

吉野建設株式会社



ベトナムフェスティバル 割を果たしています。会場ではベトナムのトップアーティストが来日公演を開くほか、フォー(米粉麺)やバインミー(ベトナム風サンドイッチ)、揚げ春巻き、チー(ベトナム風ぜんざい)など、ベトナム料理のブースが多数出店します。

日越外交関係樹立50周年を迎える今年、4月に福岡で開催されたの

ベトナムフェスティバル 割を果たしています。会場ではベトナムのトップアーティストが来日公演を開くほか、フォー(米粉麺)やバインミー(ベトナム風サンドイッチ)、揚げ春巻き、チー(ベトナム風ぜんざい)など、ベトナム料理のブースが多数出店します。

日越外交関係樹立50周年を迎える今年、4月に福岡で開催されたの

ベトナムフェスティバル 割を果たしています。会場ではベトナムのトップアーティストが来日公演を開くほか、フォー(米粉麺)やバインミー(ベトナム風サンドイッチ)、揚げ春巻き、チー(ベトナム風ぜんざい)など、ベトナム料理のブースが多数出店します。

日越外交関係樹立50周年を迎える今年、4月に福岡で開催されたの

番付	四股名	成績
幕下25枚目	北天海	3勝4敗
三段目2枚目	大海	3勝4敗
三段目26枚目	穂高	4勝3敗
三段目29枚目	高馬山	2勝5敗
三段目80枚目	坂林	2勝5敗
序二段16枚目	照寶	5勝2敗
序二段17枚目	高倉山	2勝5敗
序二段38枚目	玄武丸	4勝3敗
序二段41枚目	九鬼王	5勝2敗
序二段64枚目	富士の輝	4勝3敗
序二段83枚目	山名	4勝3敗

※五月場所(夏場所)の番付は5月1日に発表

ベトナムフェスティバル 割を果たしています。会場ではベトナムのトップアーティストが来日公演を開くほか、フォー(米粉麺)やバインミー(ベトナム風サンドイッチ)、揚げ春巻き、チー(ベトナム風ぜんざい)など、ベトナム料理のブースが多数出店します。

日越外交関係樹立50周年を迎える今年、4月に福岡で開催されたの

ベトナムフェスティバル 割を果たしています。会場ではベトナムのトップアーティストが来日公演を開くほか、フォー(米粉麺)やバインミー(ベトナム風サンドイッチ)、揚げ春巻き、チー(ベトナム風ぜんざい)など、ベトナム料理のブースが多数出店します。

日越外交関係樹立50周年を迎える今年、4月に福岡で開催されたの

ベトナムフェスティバル 割を果たしています。会場ではベトナムのトップアーティストが来日公演を開くほか、フォー(米粉麺)やバインミー(ベトナム風サンドイッチ)、揚げ春巻き、チー(ベトナム風ぜんざい)など、ベトナム料理のブースが多数出店します。

日越外交関係樹立50周年を迎える今年、4月に福岡で開催されたの

ベトナムフェスティバル 割を果たしています。会場ではベトナムのトップアーティストが来日公演を開くほか、フォー(米粉麺)やバインミー(ベトナム風サンドイッチ)、揚げ春巻き、チー(ベトナム風ぜんざい)など、ベトナム料理のブースが多数出店します。

日越外交関係樹立50周年を迎える今年、4月に福岡で開催されたの

番付	四股名	成績
幕下25枚目	北天海	3勝4敗
三段目2枚目	大海	3勝4敗
三段目26枚目	穂高	4勝3敗
三段目29枚目	高馬山	2勝5敗
三段目80枚目	坂林	2勝5敗
序二段16枚目	照寶	5勝2敗
序二段17枚目	高倉山	2勝5敗
序二段38枚目	玄武丸	4勝3敗
序二段41枚目	九鬼王	5勝2敗
序二段64枚目	富士の輝	4勝3敗
序二段83枚目	山名	4勝3敗

ベトナムフェスティバル 割を果たしています。会場ではベトナムのトップアーティストが来日公演を開くほか、フォー(米粉麺)やバインミー(ベトナム風サンドイッチ)、揚げ春巻き、チー(ベトナム風ぜんざい)など、ベトナム料理のブースが多数出店します。

日越外交関係樹立50周年を迎える今年、4月に福岡で開催されたの

ベトナムフェスティバル 割を果たしています。会場ではベトナムのトップアーティストが来日公演を開くほか、フォー(米粉麺)やバインミー(ベトナム風サンドイッチ)、揚げ春巻き、チー(ベトナム風ぜんざい)など、ベトナム料理のブースが多数出店します。

日越外交関係樹立50周年を迎える今年、4月に福岡で開催されたの

ベトナムフェスティバル 割を果たしています。会場ではベトナムのトップアーティストが来日公演を開くほか、フォー(米粉麺)やバインミー(ベトナム風サンドイッチ)、揚げ春巻き、チー(ベトナム風ぜんざい)など、ベトナム料理のブースが多数出店します。

日越外交関係樹立50周年を迎える今年、4月に福岡で開催されたの

ベトナムフェスティバル 割を果たしています。会場ではベトナムのトップアーティストが来日公演を開くほか、フォー(米粉麺)やバインミー(ベトナム風サンドイッチ)、揚げ春巻き、チー(ベトナム風ぜんざい)など、ベトナム料理のブースが多数出店します。

日越外交関係樹立50周年を迎える今年、4月に福岡で開催されたの

番付	四股名	成績
幕下25枚目	北天海	3勝4敗
三段目2枚目	大海	3勝4敗
三段目26枚目	穂高	4勝3敗
三段目29枚目	高馬山	2勝5敗
三段目80枚目	坂林	2勝5敗
序二段16枚目	照寶	5勝2敗
序二段17枚目	高倉山	2勝5敗
序二段38枚目	玄武丸	4勝3敗
序二段41枚目	九鬼王	5勝2敗
序二段64枚目	富士の輝	4勝3敗
序二段83枚目	山名	4勝3敗

ガッツポーズで意気込む城間(左)と春山(右)

ガッツポーズで意気込む城間(左)と春山(右)